

窓辺

医療逼迫はなぜ起きたか
毛利博

人口千人当たりの病床数は世界一であり、高度な医療機器の過剰ともいえる整備も進み、医療先進国と自負していた日本が、新型コロナウイルスで脆くも医療崩壊を叫ばれるようになったのはなぜでしょうか。原因の一つとして、平時の備えは十分なのに、異常事態に対する危機管理能力が行政、医療どちらにも欠けていたことが挙げられます。

全国に1750床余りある感染症病床は、その9割近くが公立、公的病院にあります。平時は使用する頻

度が低いことに加え、医師不足の中で対応できる医師の確保が不十分でした。そのような状況下で感染拡大が起こりました。

全国に1750床余りある感染症病床は、その9割近くが公立、公的病院にあります。平時は使用する頻

染者と非感染者の動線を分離するなど病室の運用対策が必要なため、建物の構造上困難な病院が多かったことです。しかし、本県では病院の連携により何とか医療崩壊に至らずに済みました。

重症患者になると、人工呼吸器の装着や1日数回の体位変換などに多くの医療従事者が関わるため、人材の確保も必要です。しかし各病院の現状はまだ危機に対応できる体制にはありません。差し迫った危機にどう対処するか、英知を絞る議論を重ねる必要があります。

（県病院協会会長）
藤枝市病院事業管理者